

平成10年度特別展

高山右近とその時代

— 北摂のキリシタン文化 —

平成10年4月29日〔祝〕～5月31日〔日〕

■開館時間／午前9時30分～午後5時 ■休館日／5月6日・11日・18日・25日
■観覧料／大人500円(400円)／高・大学生250円(200円)／小・中学生100円(80円)
※第一・四土曜日は市内小・中学生は無料。※()内は20名以上の団体割引料金



聖母マリア画像 個人蔵

講演会

5月10日〔日〕午後2時30分開演

「高山右近とその時代」

帝塚山学院院长 脇田 修氏

5月17日〔日〕午後2時30分開演
「桃山時代絵画にみる
キリシタン」

神戸市立博物館学芸員 成澤勝嗣氏

交通案内

- 阪急千里線吹田駅から
桃山台駅前・山田原切山ゆきバス(佐
井寺北)下車徒歩10分
- 阪急山田・千里中央・摂津ふれあいの
里ゆきバス(岸部)下車 徒歩10分
- 阪急千里線南千里駅から
JR吹田ゆきバス(23系統、佐井寺北)
下車徒歩10分
- JR東海道本線岸辺駅下車徒歩20分
車でのご来館は、佐井寺北・五月が丘
方面からお願いします



吹田市立博物館
大阪府吹田市岸部北四丁目二〇番一
TEL 06-1338-1550

高山右近と その時代

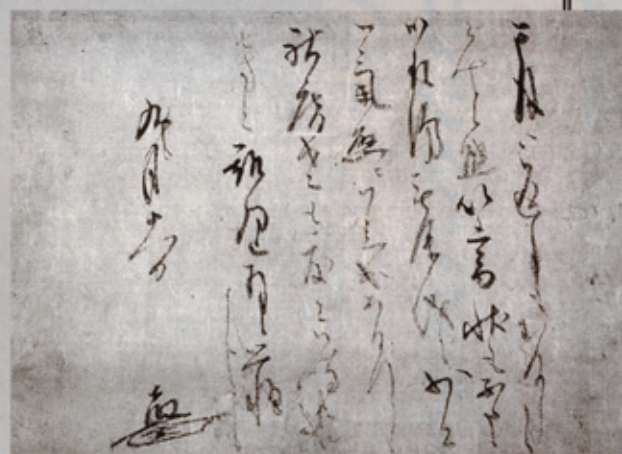
北摂のキリシタン文化

高山右近は戦国時代末期から江戸時代初期のキリシタン大名として知られています。彼の生きた時代は、群雄割拠の時代から織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の手をへて天下統一がなされ、中世的な社会から近世的な社会へ大きく転換した時代でした。鉄砲やキリシタンに代表されるヨーロッパ文化が初めて日本に伝わってきたのはこのような時代でした。日本人はヨーロッパ文化をいったんは受け入れ、物質文化である鉄砲や南蛮の文物については異国趣味から珍重しましたが、精神文化であるキリスト教は秀吉や家康ら支配者によって拒否されるに至ったのです。それは、当時の支配者にとって、キリシタンの教理は日本の政治体制と矛盾するものであったのでしよう。このようなヨーロッパ文化の受容と反発は、右近の生き方に大きく影響を与えずにはおきませんでした。

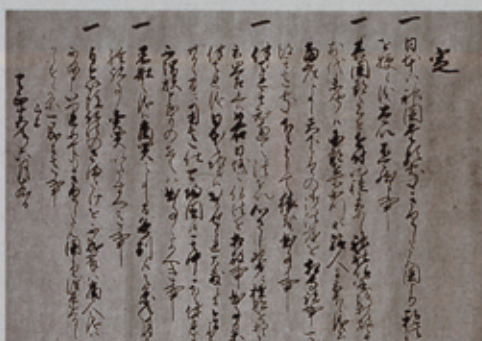
今回の展示では、高山右近の生涯をたどるとともに、北摂で発見されたキリシタン遺物を展示し、北摂で花開いたキリシタン文化について紹介します。



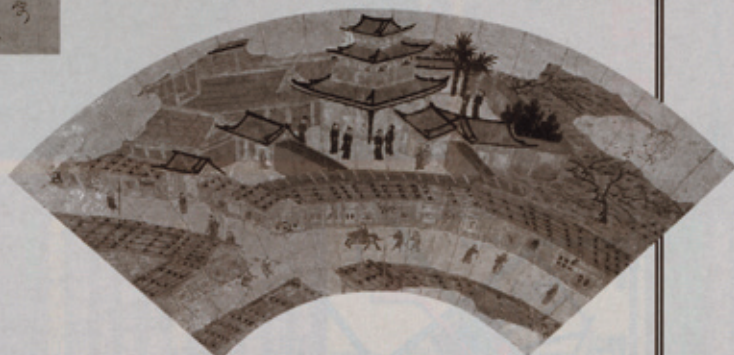
フランシスコ・ザビエル画像 神戸市立博物館蔵



高山右近書状 南蛮文化館蔵



豊臣秀吉バテレン追放令 松浦史料博物館蔵



南蛮寺扇面図 神戸市立博物館蔵